

善養寺便り

第五号

平成二十七年四月号 発行 善養寺

四月のことば

「他人に教えるとおりに、自分でも行え。自分をよくととのえた人こそ、他人をととのえるであろう。自己は実に制し難い。」

「ブツダの真理のことば」(岩波文庫)より

三寒四温の三月を皆様はいかがお過ごしでしたでしょうか。今年も冬から春にかけても寒い日が続きました。この便りがお手元に届く頃はすでに桜の便りも届いていると思いますが、花冷えの季節でもあります。お風邪等お召しになられませんか。

ところで皆さんのお近くにもお花見ができる場所があると思います。善養寺近辺も、桜並木が何力所があります。もちろん姫路城も有名です。

有名な在原業平の和歌に

「世の中にたえて桜のなかりせば

春の心はのどけからまし」



◆二十六年度第五回仏教講演会

三月四日、二十六年度第五回の仏教婦人会仏教講演会がありました。ご講師は、大阪府貝塚市より安方哲爾先生にお越しいただき、楽しくわかりやすくご法話をいただきました。少しだけ紹介しますと

仏教では、私たち人間のことを「有情」と言う。私たちは日頃感情で生きている。亡くなった人に対する思いやことは決して科学的な思考からは出てこない。科学は私たちの苦しみやつらさに答えてくれない。仏様は、私たちの苦しみ悲しみをすべてそのまま受け取ってください。

また、お浄土に帰るといいますが、私が勝手に帰るのではない。阿弥陀様が迎えてくださるのだ。阿弥陀様が連れ帰ってくれるのだ。私たちには迎えてくださる阿弥陀様がいらっしゃるということを知ってゆくの浄土真宗である。

以上のようなご法話でした。

現代は、利便性、合理性が優先です。わからないことはパソコンやスマートフォンに聞けば、たいいていのことは答えが出来ます。しかし、当然ながら、悲しみや苦しみにスマホは答えてくれません。何より、すべてに答えがあり、問いに対し、答



というのがありますね。「この世にもしまったく桜というものがなかったならば、春の人の心は、咲くの待ち焦がれ、散るのを惜しむなど桜のために気をもむこともなく、のんびりしたものであるうに。」という意味ですが、それほどまでに古来より日本人は桜が咲き始めると身も心もじっとしておれなかったのでしょうか。

さて、四月八日はお釈迦様の誕生日を祝う花まつりが各地で催されます。「灌仏会」とも言いますが、お釈迦様の像に甘茶をかけたりしますね。



四月はお釈迦様つまりブツダのことばです。岩波文庫の「ブツダの真理のことば」は、毎朝のニュー入番組の司会をしている明治大学教授の斎藤孝氏がお勧めの一冊にあげていましたので、改めて開いてみました。

実は、私たちが日頃お勤めしておりますお経こそブツダのことばですので、こちらの本は別のお経となります。ともかく、多少わかりやすいことばを一つあげてみました。

私も、つい人には厳しく自分には甘くなりがちです。また、日頃自分が言っている言葉と、していることが矛盾するようなどこともあります。そうでない人ももちろんいますが、自分を制するのは本当に難しいものです。自分をととのえ、身心ともにととのえよ、ということでしょう。「人の振り見て我が振り直せ」ということわざもありますね。

えはすぐに出なければならぬと思いがちな現代人です。私たちの問いや答えは数式ではありません。問いも答えもわからないから、私たちはもがき苦しむのです。ご聴聞は、私自身を問うていくことでもあると思います。

仏教講演会は平日の午後で開催しておりますが、お勤めの仏会員さんにもお聴聞していただけますように今年も土曜が一回入れてあります。より多くの皆様のご聴聞をお待ちいたしております。

◆春の彼岸会法要

三月二十一日(土) 十時より八代山の善養寺墓苑にて、「春の彼岸会法要」を勤修しました。春の陽気につつまれたおだやかな天候の下、御名号碑でお勤めをし、その後墓苑内を行道(読経をしながら巡回)しました。



善養寺では、春のお彼岸（3/21）と夏のお盆会（8/15）に墓苑の方で法要を勤めます。夏は、午前中は納骨堂で、夕方に墓苑でお勤めをします。ご都合のつく限り、これらの法要に合わせてお参りいただけたらと思います。

◆「すみれの会」ご案内

「すみれの会」がこの度、リニューアルしました。楽しい企画をたてています。どうぞお気軽に参加してください。会員様 大、大募集中です！

一、二、三、五、六、七、九、十、十二月

第二水曜日 十三時～十五時

※その後、おいしいお菓子でティータイム

第一回 五月六日（水）

河野久美子さんの「簡単でおいしいちご大福作り」

第二回 六月十日（水）

内藤豊枝さんの「すぐに作れて とっても可愛い

ちぎり絵の壁掛け」

第三回 七月八日（水）

田中千代野さんの「おしゃれで 美人に見える

料理用三角巾作り」

長年、おけいこされたことを「すみれの会」でご披露くださいませんか？絵手紙、スケッチ、お料理など何でもオーケーです。お問い合わせは、仏婦会長 龍本澄子さんか

ご講師 谷川弘顕先生

ゲスト 藤野ひろ子さん（歌）

七月二十五日（土）

「第二回仏教講演会」 谷川弘顕先生

九月十六日（水）

「第三回仏教講演会」 谷川弘顕先生

十一月一日（日）二日（月）

「報恩講法要」

ご講師 龍谷大学教授 玉木興慈先生

十二月三日（木）

「第四回仏教講演会」 安方哲爾先生

三月九日（水）

「第五回仏教講演会」 安方哲爾先生

◆永代経法要

四月二十一日（火）二十二日（水）は永代経法要です。

ご法話は、龍谷大学講師でもいらっしゃる清岡隆文先生です。是非ともお参りください。

お寺まで。

◆夕食に作ってみませんか？

新玉ネギのじゃこサラダ

2人分で、新玉ネギ1個、カイワレ大根1/4パック、ちりめんじゃこ大さじ2を用意します。

新玉ネギは薄切り、カイワレ大根は長さ3mmに切って器に盛ります。玉ネギの辛みが気になる場合は水にさらして、水気を切ってから盛ります。

フライパンにごま油大さじ1とちりめんじゃこを入れ、カリカリになるまで炒め、ポン酢しょうゆ大さじ3を加え入れます。

これを器に盛った新玉ネギとカイワレ大根にかけ、白ごま大さじ1を振りかけます。

（1人分174kcal、塩分2.0g）

◆二十七年度の法要と講演会のご案内

四月二十一日（火）・二十二日（水）

「永代経法要」ご講師 清岡隆文先生

五月二十六日（火）

「仏教婦人会総会・第一回仏教講演会」

★善養寺ホームページ完成！

当山のホームページが遂に完成し、三月十六日に正式にネット上にアップ（ネット上への公開）しました。内容はまだまだ不十分ですが、まずは第一段階として基本的なところだけでも早く公開しようと思いいち上げました。パソコンからはもちろん、スマートフォンでも見ることができます。

ヤフーなどで、下記のように検索してみてください。検索にかからない場合は、URLアドレスを入れると見られます。



姫路 善養寺 検索

URLアドレス

<http://zenyouji-himeji.jp/>
